

# 令和2年度 農作物病虫害発生予察7月月報

令和2年(2020年)8月 日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
7.1	22.3	24.5	△ 2.2	26.4	28.6	△ 2.2	18.8	21.2	△ 2.4
7.2	23.7	25.3	△ 1.6	26.7	29.5	△ 2.8	21.6	21.9	△ 0.3
7.3	23.3	25.9	△ 2.6	26.7	30.2	△ 3.5	21.4	22.5	△ 1.1
7.4	25.4	26.5	△ 1.1	31.1	31.0	0.1	21.2	23.0	△ 1.8
7.5	25.2	27.1	△ 1.9	28.4	31.8	△ 3.4	23.4	23.4	0.0
7.6	26.6	27.5	△ 0.9	30.8	32.3	△ 1.5	23.5	23.7	△ 0.2
平均・計	24.4	26.1	△ 1.7	28.4	30.6	△ 2.2	21.7	22.6	△ 1.0
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
7.1	34.0	76.0	△ 42.0	13.9	19.9	△ 6.0			
7.2	317.5	64.4	253.1	7.9	21.6	△ 13.7			
7.3	142.0	58.2	83.8	1.3	23.1	△ 21.8			
7.4	0.0	51.0	△ 51.0	26.1	26.4	△ 0.3			
7.5	142.0	39.7	102.3	2.9	30.3	△ 27.4			
7.6	30.0	35.1	△ 5.1	24.6	39.9	△ 15.3			
平均・計	665.5	324.4	341.1	76.7	161.2	△ 84.5			

## II 作物の生育状況

- (1) イネ : 5月下旬までに移植したものは、草丈は短く茎数はやや多い。出穂期はやや遅れる見込み。6月以降に移植したものは、草丈はやや短く茎数もやや少ない。
- (2) カンキツ : 生理落果は平年に比べて多いが、裏年としては着果量は比較的確保されている。果実肥大は平年に比べて大きい。
- (3) ナシ : 生育はほぼ平年並みで、果実肥大はほとんどの産地・品種で平年より大きく推移している。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 普通作物

2020年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ (調査ほ場数: 中旬85、 下旬86) いもち病 (葉いもち)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年6.5%)、発病株率0.7% (平年 1.7%)、発病度0.2 (平年0.4) で平年並 みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年17.8%)、発病株率5.7% (平年 7.1%)、発病度1.4(平年2.0) で平年に 比べやや多かった。病斑の最上位葉は 2.5葉 (平年2.7葉) であった。	県内全域	中 235
			少 5,174
			計 5,409
紋枯病	初発生は、7月27日(平年7月18日)で 平年に比べ遅かった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.2%)、発病株率0% (平年 0.1%)、発病度0 (平年0.0) で平年並 みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年3.5%)、発病株率0.1% (平年 0.3%)、発病度0.0 (平年0.1) で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	少 235
ごま葉枯病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年2.3%)、発病株率0.0% (平年 0.4%)、発病度0.0 (平年0.1) で平年 並みであった。	県内全域	少 235
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、発病株率0% (平年 0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年 0.0%) で平年並みであった。	—	—
ばか苗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年0.1%)、発病株率0.0% (平年 0.0%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3% (平年0.1%)、発病株率0.1% (平年 0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 470
黄化萎縮病 萎縮病 白葉枯病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ ヒメトビウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年30.8%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年0.8頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.7% (平年43.6%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年0.8頭) で平年並みであった。	県内全域	少 6,820
ツマグロヨコバイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.9% (平年26.2%)、10株当たり虫数1.8頭 (平年0.9頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率24.4% (平年38.5%)、10株当たり虫数0.6頭 (平年0.9頭) で平年並みであった。	県内全域	少 4,938
セジロウンカ	5月11日～7月27日の予察灯(4か所計)における誘殺数は424頭 (平年340頭) で平年に比べやや多かった。 下層ジェット気流等の気象条件、ネットトラップ、予察灯の誘殺状況から6月4日 (少飛来)、13日 (並飛来)、25日 (並飛来)、7月13日 (多飛来) に飛来があったと推測された。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率83.5% (平年52.4%)、10株当たり虫数13.8頭 (平年8.9頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率87.2% (平年73.4%)、10株当たり虫数51.2頭 (平年24.1頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 470 中 941 少 16,226 計 17,637
トビイロウンカ	5月11日～7月27日の予察灯(4か所計)における誘殺数は24頭 (平年0.2頭) で、平年に比べ多かった。 下層ジェット気流等の気象条件とトラップ、予察灯の誘殺状況から6月25日 (少飛来)、7月6日 (多飛来) に飛来があったと推測された。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率31.8% (平年0.5%)、10株当たり虫数0.39頭 (平年0.00頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.3% (平年3.0%)、10株当たり虫数2.2頭 (平年0.0頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 10,582

2020年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ コブノメイガ	<p>山口市のフェロモントラップにおける6月1日～7月30日までの誘殺数は181頭(平成52頭)で平成に比べ多かった。下層ジェット気流等の気象条件とトラップの誘殺状況から、主な飛来波は6月17～20日(少飛来)、7月6日(並飛来)、11～13日(並飛来)、16日(並飛来)であったと推測された。</p> <p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率64.7%(平成8.1%)、被害株率0.8%(平成0.1%)、被害葉率0.0%(平成0.1%)、20回払い出し虫数は1.3頭(平成0.0頭)で平成に比べ多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率86.0%(平成19.9%)、被害株率28.9%(平成2.6%)、被害葉率2.0%(平成0.1%)、20回払い出し虫数は7.0頭(平成0.5頭)で平成に比べ多かった。</p>	県内全域	中 941
			少 16,461
			計 17,402
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平成2.7%)、10株当たりつと数0.0個(平成0.0個)で平成並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平成5.7%)、10株当たりつと数0.0個(平成0.1個)で平成並みであった。</p>	県内全域	少 235
イネヨトウ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平成並みであった。	—	—
アワヨトウ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平成並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 斑点米カメムシ類	中旬の雑草地20回すくい取り調査では、140頭(平年102頭)で平年に比べやや多かった。アカスジカスミカメ88頭(平年75頭:やや多)、クモヘリカメムシ20頭(平年6.7頭:多)、ホソハリカメムシ4頭(平年5頭:やや多)であった。 下旬の雑草地20回すくい取り調査では、91頭(平年119頭)で平年に比べやや少なかった。アカスジカスミカメ47頭(平年84頭:やや少)、クモヘリカメムシ28頭(平年18頭:やや多)、ホソハリカメムシ6頭(平年8頭:やや少)であった。 6月1日～7月25日の予察灯(県内4か所)における誘殺数は、974頭(平年1,102頭)で平年並みであった。主要種のアカスジカスミカメ765頭(平年937頭:平年並)、クモヘリカメムシ26頭(平年13頭:やや多)、アカヒゲホソミドリカスミカメ131頭(平年143頭:平年並)、ミナミアオカメムシ52頭(平年9頭:多)であった。	県内全域	—
ニカメイガ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 5月1日～7月27日の予察灯(4か所)における誘殺は認められなかった。	—	—
フタオビコヤガ	6月11日～7月27日の予察灯(4か所計)における誘殺数は2頭(平年90頭)で平年並みであった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平年1.1%)、株当たり虫数0.0頭(平年0.0頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5%(平年1.6%)、株当たり虫数0.0頭(平年0.0頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 705
イネクロカメムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.2%)、25株当たり虫数0頭(平年0.0頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.3%)、25株当たり虫数0頭(平年0.0頭)で平年に比べ少なかった。城南ほ場の番外において発生を認めた。	—	少 1
ダイズ 吸実性カメムシ類	6月1日～7月25日の予察灯(4か所計)における誘殺数はイチモンジカメムシ2頭(平年5頭:やや少)、アオクサカメムシ14頭(平年6頭:やや多)、ミナミアオカメムシ52頭(平年9頭:多)で平年に比べ多かった。	県内全域	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
ダイズ ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は516頭(平成1,205頭)で平年に比べ少なかった。</p> <p>フェロモントラップ(県内5カ所)における6月21日～7月20日の誘殺数は5,741頭(平成1,930頭)で平年に比べ多かった。</p> <p><b>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,449</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>801</td> <td>478</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>264</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,501</td> <td>466</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,726</td> <td>232</td> </tr> </tbody> </table> <p>※6月21日～7月20日の合計</p>	地点	本年	平成	周南市熊毛	1,449	610	山口市阿東	801	478	萩市明木	264	145	下関市清末	1,501	466	柳井市伊陸	1,726	232	県内全域	—
地点	本年	平成																			
周南市熊毛	1,449	610																			
山口市阿東	801	478																			
萩市明木	264	145																			
下関市清末	1,501	466																			
柳井市伊陸	1,726	232																			

## 2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:20) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平成12.1%)、発病果率0.8%(平成0.9%)、発病度0.2(平成0.4)で平成並みであった。	県内全域	少 113
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平成3.3%)、発病果率0.9%(平成0.2%)、発病度0.7(平成0.1)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 169
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0%(平成78.3%)、発病果率13.8%(平成20.6%)、発病度2.9(平成5.3)で平成並みであった。	県内全域	少 789
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平成37.5%)、寄生葉率0.7%(平成7.4%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 113
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.5%)、被害果率0%(平成0.0%)で平成並みであった。	—	—
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平成14.5%)、被害果率0.5%(平成0.4%)で平成並みであった。	県内全域	少 169
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平成10.5%)、寄生果率2.3%(平成0.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 56 中 113 計 169

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (前年0%)、寄生新梢率0.1% (前年0%)であった。	県内全域	少	56
他リアカカガラムシ、ルビ ロウシ、ツノロウシ、ヤネ カカガラムシ	下旬の巡回調査では、発生は認められな かった。	—	—	—
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀およびゴール ド二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率44.4% (平年47.2%)、発病葉率0% (平年0.1%)、発病新梢率2.0% (平年3.8%)で平年並みであった。	県内全域	少	44
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年14.1%)、発病葉率1.3% (平年0.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	11 45 56
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年13.3%)、寄生新梢率0.1% (平年0.4%)で平年並みであった。	県内全域	少	23
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年9.0%)、寄生葉率0.7% (平年1.8%)で平年並みであった。	県内全域	少	45
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年33.3%)、被害新梢率8.6% (平年5.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 中 計	23 23 46
ハマキムシ類	下旬の巡回調査では、発生が認められ ず、平年並みであった。	—	—	—
ナシヒメシク イ	萩市小川のフェロモントラップにおける 7月の誘殺数は17頭(平年29頭)で平年に 比べやや少なかった。	県内全域	—	—
チュウゴクナシキ ジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年3.8%)、寄生葉率0.4% (平年0.2%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	34
フタモンマダラメ イガ	下旬の巡回調査では、発生が認められな かった。	—	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオカ メムシ、クサギカ メムシ)	予察灯(県内5か所、6月26日～7月25日合計)における誘殺数は402頭(平成27年271頭)で平年に比べやや多かった。 フェロモントラップ(県内4か所、7月合計)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は15,114頭(平成27年8,021頭)で平年に比べやや多かった。 スギ・ヒノキの毬果量調査(県下6か所、6月下旬調査)では、スギ、ヒノキとも平年並みの着果程度であった。	県内全域	—

## 3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
トマト(雨よけ) (調査ほ場数:3) 灰色かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成27年10.3%)、発病株率0%(平成27年1.2%)、発病度0(平成27年0.1)で平年並みであった。 ゴーストスポット発生果率は1.0%(平成27年0.8%)であった。	—	—
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成27年3.3%)、寄生株率0%(平成27年0.1%)で平年並みであった。	—	—
コナジラミ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成27年8.3%)、寄生株率0%(平成27年0.4%)で平年並みであった。	—	—
夏秋ナス (調査ほ場数:3) ハダニ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成27年38.3%)、被害果率0%(平成27年3.7%)で平年に比べ少なかった。	—	—
アザミウマ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平成27年29.2%)、寄生葉率0.7%(平成27年5.2%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 27
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる7月の誘殺数は、394頭(平成27年35頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—



野菜、花き類 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は516頭(平成1,205頭)で平年に比べ少なかった。フェロモントラップ(県内5カ所)における6月21日～7月20日の誘殺数は5,741頭(平成1,931頭)で平年に比べ多かった。</p> <table border="1" data-bbox="533 416 967 651"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数(頭)</th> </tr> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,449</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>801</td> <td>478</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>264</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,501</td> <td>466</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,726</td> <td>232</td> </tr> </tbody> </table> <p>※6月21日～7月20日の合計</p>	フェロモントラップでの誘殺数(頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	1,449	610	山口市阿東	801	478	萩市明木	264	145	下関市清末	1,501	466	柳井市伊陸	1,726	232	県内全域	—
フェロモントラップでの誘殺数(頭)																								
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	1,449	610																						
山口市阿東	801	478																						
萩市明木	264	145																						
下関市清末	1,501	466																						
柳井市伊陸	1,726	232																						
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、25頭(平成22.9頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、6頭(平成19.3頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所  
TEL(083)927-4006 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp